

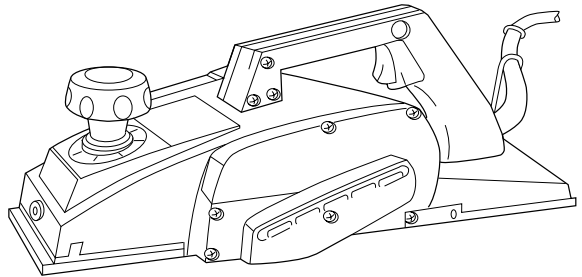
Makita

取扱説明書

電気カンナ

136mm モデル **1804N**
(2スピード)

155mm モデル **1805N**



本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。

このたびは**マキタ電動カンナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






主要機能

主要機能 \ モデル	1804N	1805N
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相 100V	
電流	12A	
周波数	50-60Hz	
消費電力	1,140W	
回転数	高速 16,000min ⁻¹ (回転/分) 低速 12,000min ⁻¹ (回転/分)	15,000min ⁻¹ (回転/分)
最大切削幅	136mm	155mm
最大切削深さ	3mm	
質量	7.8kg	7.9kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

JPA001-2

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
9. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

⚠ 警告

10. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工する物をしっかりと固定してください。

- ・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ 使用しない、または、修理する場合。
- ・ 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたは、キャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 常識を働かせてください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

カナ安全上のご注意

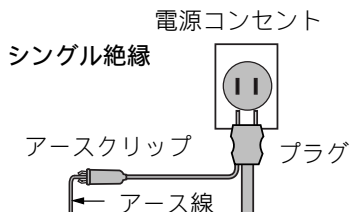
先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、カナナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB075-2

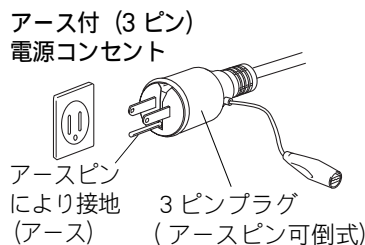
⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

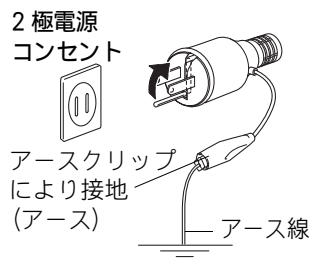
- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- アース付（3ピン）電源コンセントの場合
3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）



- 2極電源コンセントの場合
アースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※ 労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条



2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

⚠ 警告

3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを、使用してください。
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. 使用前に、カンナ刃取り付けボルトが十分に締まっているか常に確認してください。
 - ・ 締め付けが不十分ですと、けがの原因になります。
6. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
7. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・ 回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
8. 材料を手にとっての切削はしないでください。
 - ・ カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
9. 本体を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
 - ・ カンナ刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
10. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
11. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - ・ 刃物を破損させ、事故の原因になります。
12. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - ・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・ カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
5. ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないでください。
 - ・ ベルトに触れ、けがの原因になります。
6. カンナ刃の交換や刃高調整後は、カンナ刃取り付けボルトを十分に締め付けてください。
 - ・ ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
7. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
8. 回転中のカンナ刃にコードを接触させないでください。
 - ・ 感電の原因になります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
10. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

注

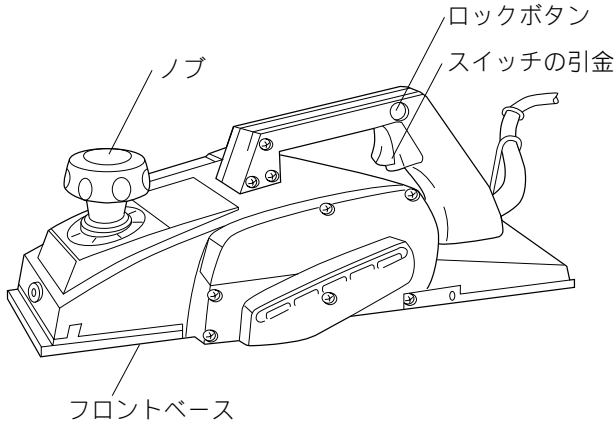
電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で支障なくご使用していただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係


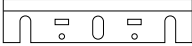

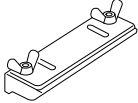
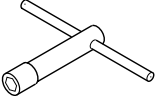
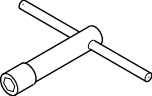
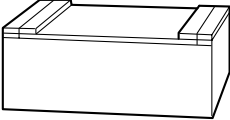

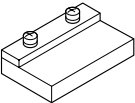
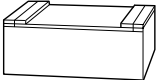
コードの太さ (導体公称断面積)	コードの最大長さ	銘板記載の定格電流値		
		～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²		20m	—	—
1.25mm ²		30m	15m	10m
2.00mm ²		50m	30m	20m

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。
- ・ 200V仕様機の場合は、上記の2倍の長さが限度となります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

替刃式仕様	研磨式仕様
<ul style="list-style-type: none"> ・ カンナ刃 (本機取付) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カンナ刃 (本機取付) 
<ul style="list-style-type: none"> ・ カンナ刃 (予備) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ⊕平小ネジ ・ 刃研ぎ保持具 
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボックスレンチ 9 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボックスレンチ 9 
<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯用木箱 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角定規 (1805N) 
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブレードゲージ ・ 携帯用木箱  

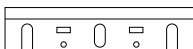
別販売品のご紹介

- ・ カンナ刃 (2枚1組)

(研磨式用)

部品番号 A-27551 (1804N)

部品番号 A-20878 (1805N)



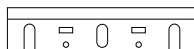
- ・ 超硬カンナ刃 (2枚1組)

(研磨式用)

(デコラ、硬木などの切削に普通)
のカンナ刃より長持ちします。)

部品番号 A-20862 (1804N)

部品番号 A-20844 (1805N)



- ・ カンナ刃 (2枚1組)

(替刃式用)

部品番号 A-17049 (1804N)

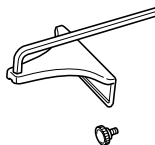
部品番号 A-17164 (1805N)



- ・ 移動定規 (ガイドルール)

(移動定規取り付け用固定ネジ付)

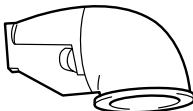
部品番号 191454-3



- ・ ノズルアッセンブリ

部品番号 JPA122198 (1804N)

部品番号 JPA122197 (1805N)



- ・ ノズル 70-3 アッセンブリ+

ジョイント 70 (モデル 1804N)

- ・ ノズル 70-2 アッセンブリ+

ジョイント 70 (モデル 1805N)

(弊社集じん機に接続してご使
用できます。)

ノズル 70-3 部品番号 JPA122278

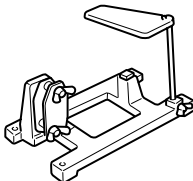
ノズル 70-2 部品番号 JPA122277

ジョイント 70

部品番号 181575-9

- ・ スタンド

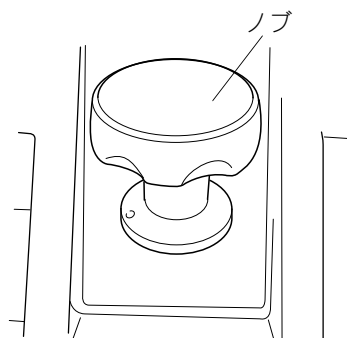
部品番号 JPA122241



使い方

切削深さの調節

- ・ このカンナの一度で削れる深さは3mmです。
お使いになる前に削りたい切削深さにセットしてください。
切削深さの調節は、ノブ（前部の握り）を回して切削量目盛り板に目印を合わせてください。



スイッチの操作

⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金をいっばいに引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。

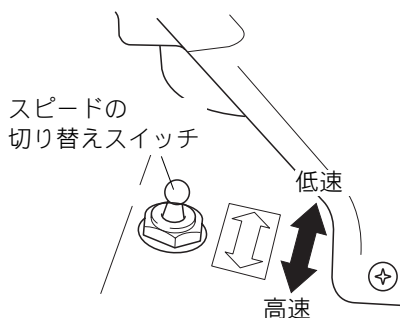
使い方

スピード切り替えスイッチの操作 (1804N)

- ・ スピード切り替えスイッチを「高速」にセットしますと高速回転になり、「低速」にセットしますと低速回転になります。

注

スイッチを入れた状態でスピードを切り替えますと、故障の原因となります。



削り方

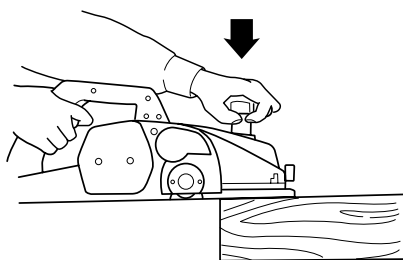
⚠ 注意

作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。

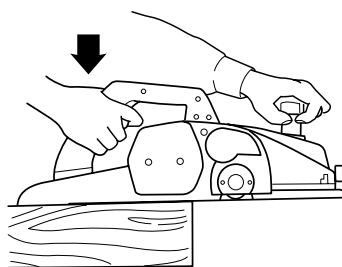
- ・ カンナ刃が回転し、けがの原因となる恐れがあります。

- ・ カンナ刃が木材に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が一定になりましたら、本機が木材の上を滑らかに動くように静かに前へ進めます。削り始めや終りは下図のように矢印方向に力を入れて削ってください。

削り始め



削り終り



- ・ 美しい仕上面を得るには、始めのうちは切削量を深くして荒削りをし、仕上げるときは浅めにして使用するのが理想的です。

使い方

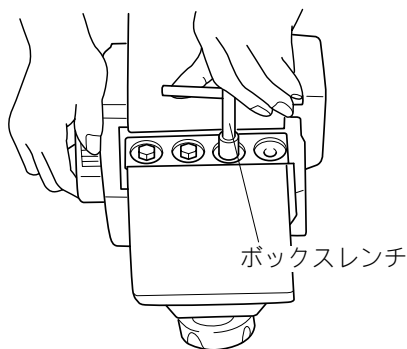
カンナ刃の取り付け、取りはずし方

⚠ 警告

カンナ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

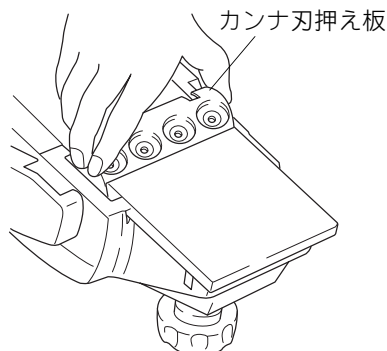
- ・ カンナ胴の4本のカンナ刃締め付けボルトを付属のボックスレンチで取りはずします。



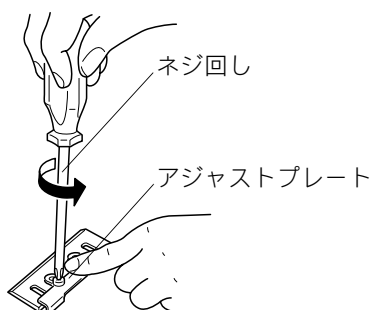
⚠ 注意

カンナ刃を取り出す際には、カンナ刃の両端をつかむように取り出してください。

- ・ 直接刃先に触れますと、切り傷の原因となります。
- ・ 次にカンナ刃押え板と一緒にカンナ刃を取り出します。もう一組のカンナ刃も同じ要領で取りはずしてください。



- ・ カンナ刃に取り付いているアジャストプレートをお手持ちのネジ回しで取りはずします。



使い方

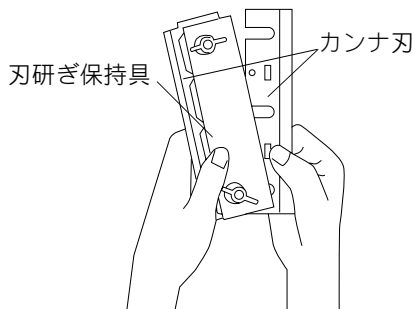
カンナ刃の研ぎ方

- ・ カンナ刃の研ぎ方は、2枚のカンナ刃を付属の刃研ぎ保持具にセットして水砥石で研ぎます。

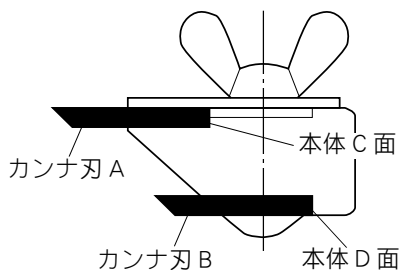
注

- ・ 水砥石はご使用前に2～3分くらい水につけてからお使いください。

- ・ カンナ刃を刃研ぎ保持具に取り付けるには、保持具本体の2コのチョウナットをゆるめ、2枚のカンナ刃A・Bが保持具のC面・D面にそれぞれ接するようにセットし、チョウナットでしっかり固定してください。



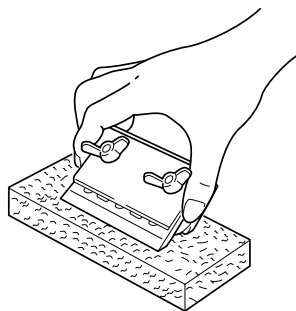
- ・ 右図は刃研ぎ保持具に2枚のカンナ刃をセットした状態です。



- ・ 刃研ぎ保持具にセットした2枚のカンナ刃の研ぎ面が、同時に砥石面に接するように研げば、角度も同時に仕上がります。

注

- ・ カンナ刃は常に手入れをして、切れ味のよい状態でお使いください。機械に無理がかからず能率よくしかもきれいな仕上がりが得られます。

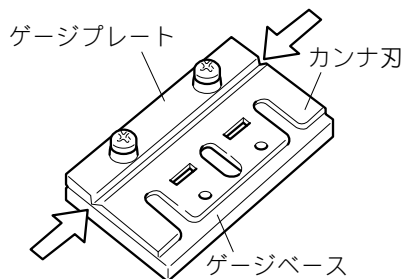


使い方

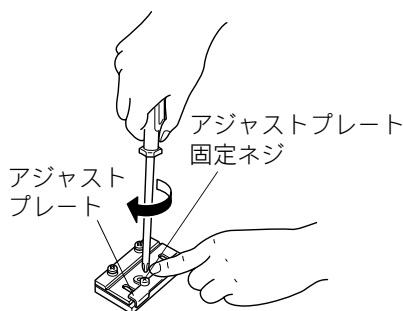
本機はブレードゲージを使用するブレードゲージ式と調整ネジを使用するセットスクリュ式の2種類の刃高調整ができます。

ブレードゲージ式刃高調整方法

- ・ 研ぎ終わったカンナ刃はカンナ胴に取り付ける前に付属のブレードゲージで刃高調整をします。
- ・ カンナ刃をゲージベースの上におき、右図のように刃先全体をゲージプレートに接するようにしてください。

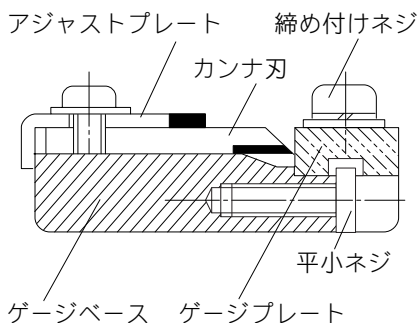


- ・ アジャストプレートの端をゲージベースの端面にあて、カンナ刃の上から指で押えながら固定ネジをしっかり締め付けてください。このとき、アジャストプレートをカンナ刃の刃先に向かって軽く押えながら締め付けてください。



注

- ・ ブレードゲージは正確に寸法を出してありますから調整の必要はありませんが、万一、刃先がカンナ本体の定盤面より引込んでいる場合はゲージプレートの締め付けネジをゆるめ、図の平小ネジを回して調整してください。
- ・ 長期間使用してゲージプレートがすり減った場合はゲージプレートの締め付けネジをゆるめ、同じようにして調整してから締め付けネジで固定してください。



使い方

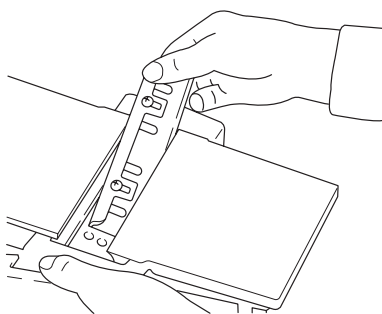
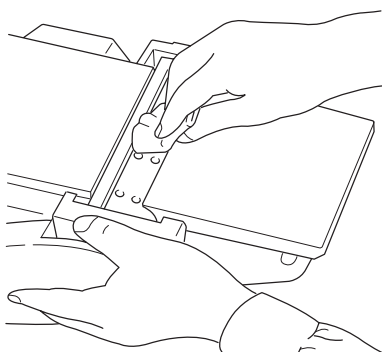
カンナ刃の取り付け方

- ・ カンナ刃を取り付ける場合は、カンナ胴及びカンナ刃の取り付け面に木屑等が着いていないように、きれいに掃除してください。

⚠ 注意

カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチ 9 で十分締め付けてください。

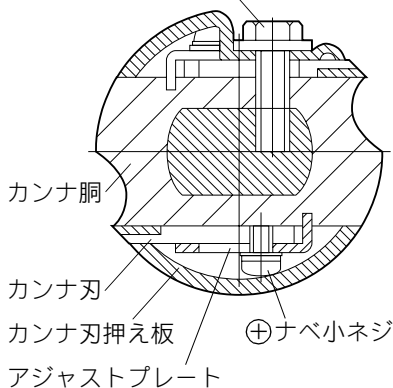
- ・ ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
- ・ カンナ刃のアジャストプレートの端をカンナ胴の溝にはめ込み、カンナ刃の上からカンナ刃押え板を置き、取りはずした時の逆の要領で 4 本の締め付けボルトでしっかり締め付けてください。



注

- ・ カンナ刃を取り付ける時は、必ず同一寸法・同一重量の刃を取り付けてください。同一のカンナ刃を使用されないとカンナ胴の振動が大きくなり、きれいな仕上がり面が得られないばかりか、故障の原因となりますのでご注意ください。

カンナ刃締め付けボルト



使い方

セットスクリュ式刃高調整方法

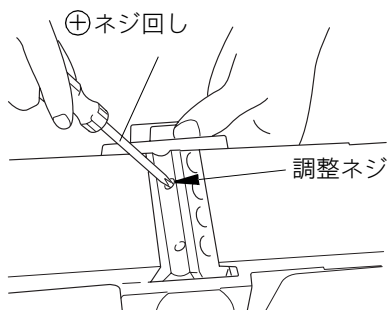
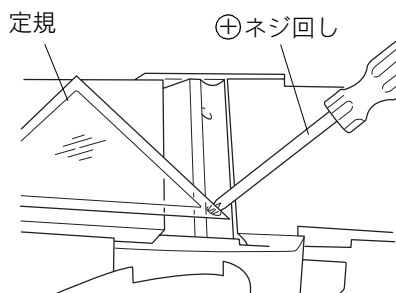
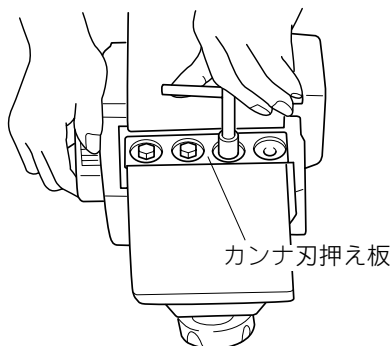
注

- ・ ブレードゲージ式刃高調整に使用しているブレードゲージ、アジャストプレート、⊕ナベ小ネジは使用しません。

調整ネジによる刃高調整方法

- ・ 付属の調整ネジ4本をカンナ胴に取り付けた後、カンナ刃の切欠部を調整ネジの頭に入れカンナ刃押え板をかぶせ、カンナ刃締め付けボルトで軽く締め付けてください。
- ・ 調整は、定規の一辺をベースに平行にあて、カンナ刃の刃先がどの部分でも定規の下部に一致するように、⊕ネジ回しで調整ネジを左右に回してカンナ刃を調整します。

- ・ 調整できたら、カンナ刃締め付けボルトを十分に締め付けます。この際、ボルトは一度に強く締め付けず4本のボルトを交互に締め、そのつど定規で出具合を再点検、調整しながら締め付けてください。また、カンナ刃を上下させる調整ネジはカンナ刃取り付け後、必ず締め付けてください。

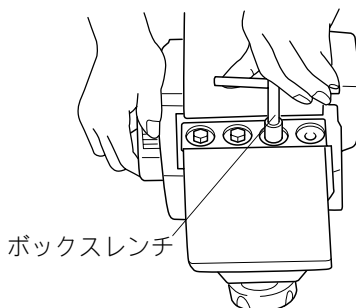


使い方

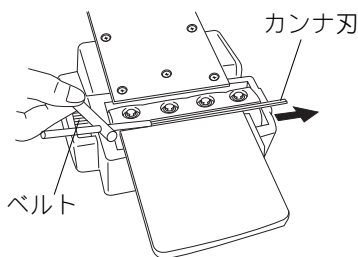
替刃式

カンナ刃の取り付け、取りはずし方

- ・ カンナ胴の4本のカンナ刃締め付けボルトを付属のボックスレンチで1回転緩めます。



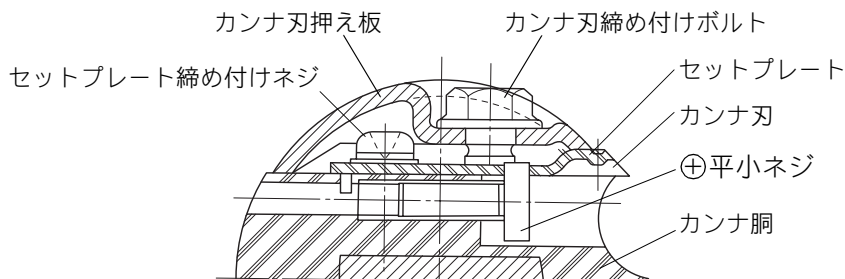
- ・ カンナ刃をベルト側よりボックスレンチの柄で押し取りはずしてください。
- ・ 反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。



⚠ 注意

カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。

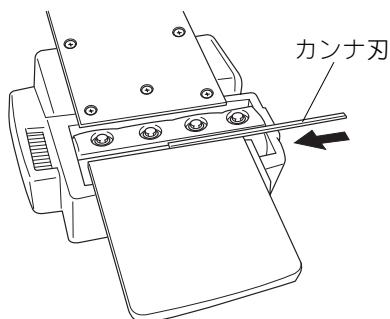
- ・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。



使い方

カンナ刃の取り付け方

- ・ ベルト側よりカンナ胴とセットプレート間にカンナ刃を挿入します。
- ・ 4本のカンナ刃締め付けボルトをボックスレンチでしっかり締め付けます。



注

- ・ カンナ刃の反対側を使用されるときは、刃に付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。
- ・ カンナ刃は、正確に寸法を出してありますから調整の必要ありませんが、万一、刃先がカンナ本体の定盤面より引込んでいる場合、出過ぎている場合は、カンナ刃締め付けボルトとセットプレート締め付けネジを緩めて⊕平小ネジを回して調整してください。調整後は、セットプレート締め付けネジ、カンナ刃締め付けボルトを締め付けてください。

使い方

カンナ仕様の変更について

- ・ 本機は、下部の部品を交換することによって、替刃式を研磨式に、また研磨式を替刃式に変更できます。

カンナ仕様を変更される場合は、下記部品をお買い求めください。

仕様変更に必要な部品

替刃式	研磨式
1805N	1805N
セットプレート 155 2 カンナ刃 (155mm)..... 2 ⊕ナベ小ネジ M4 × 10 4 ⊕平小ネジ M5 × 13 4 (研磨式 (通付))	アジャストプレート.....2 ブレードゲージ.....1 ⊕ナベ小ネジ M4 × 5.....4 カンナ刃 (155mm)2
1804N	1804N
セットプレート 136 2 カンナ刃 (136mm)..... 2 ⊕ナベ小ネジ M4 × 10 4 ⊕平小ネジ M5 × 13 4 (研磨式 (通付))	アジャストプレート.....2 ブレードゲージ.....1 ⊕ナベ小ネジ M4 × 5.....4 カンナ刃 (136mm)2

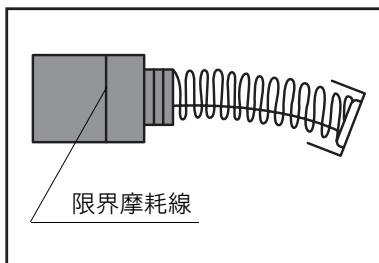
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

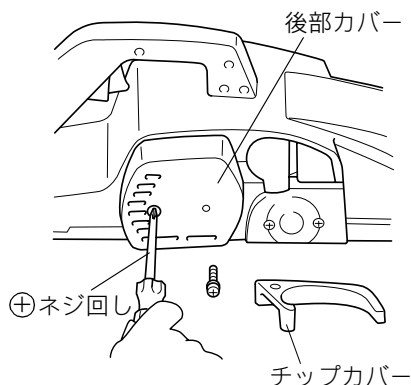
- ・ プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

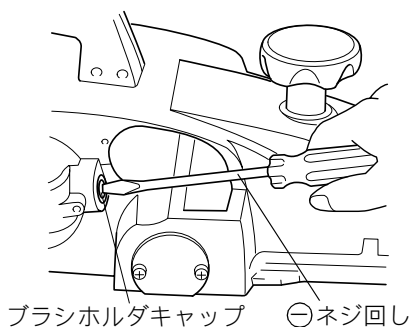
- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界磨耗線まで磨耗したら新品と取り替えてください。
このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



- ・ ⊕ネジ回しでチップカバーと後部カバーを取りはずしたのち、⊖ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずします。



- ・ 中から磨耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行ってください。



保守・点検について

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄のマキタ直営事業所にお申しつけてください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

881003F1

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)